

理工学部 NEWS

第7号 (2016.9)

発行者：理工学部支援室

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/>



機械工学系「創造工作実習」で製作したスターリングエンジンが完成しました

機械工学系 3年生の集中講義「創造工作実習」は濱口和洋教授（機械工学系）の指導のもとスターリングエンジンを製作する授業です。スターリングエンジンとは外部から熱を与え、中の空気を膨張・収縮させて発生する圧力変化によって動力を得るエンジンです。この授業では学生が一から考えて設計し、組み立てが完了したエンジンに熱を与え、正確に稼働するまでを目標にしています。今年は10台のエンジンが完成しました。



完成したエンジンに火を灯し稼働を確認

電気電子工学系の学生が研究発表を行いました

8月1日(月)～4日(木)、浜松で開催された「第19回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2016)」で、総合理工学科 電気電子工学系 4年 山本唯豊さん（嶋好博研究室）が研究発表を行いました。

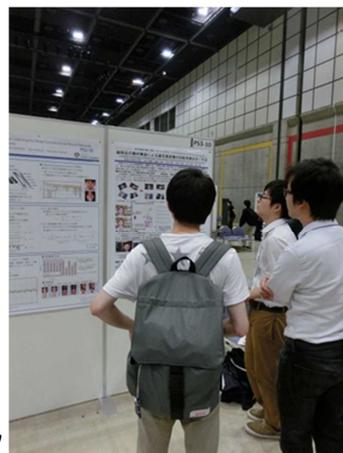
研究発表のタイトル：

「顔部品の幾何構造による顔写真画像の回転角検出の一手法」

発表者：

山本 唯豊, 鎌倉 圭吾, 山本 康平, 田中 利弥, 府川 竜太, 嶋 好博

ポスター発表する山本唯豊さん

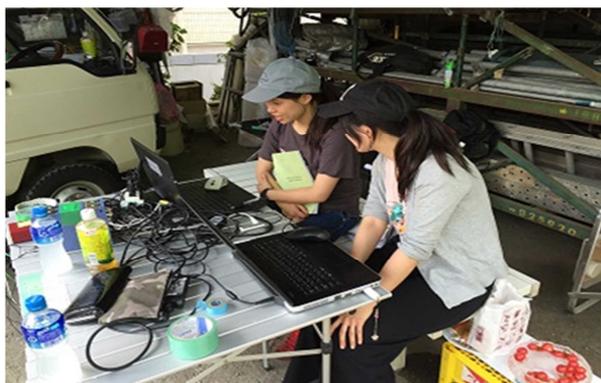


建築学系 立道研究室で小林アルミ工業株式会社との実大実験計測を行いました

建築学系 立道郁生教授の「ゼミナールⅡ」では、小林アルミ工業株式会社（東京都府中市）と共同研究（「地震時における学校体育館の窓枠落下防止対策に関する研究」）を行っています。8月5日（金）、担当学生がその実大実験計測を小林アルミ工業株式会社で実施しました。本研究は学校体育館だけでなく高所に設置された窓枠を対象としているため、工場や美術館等にも応用することができます。またこの研究は、地震が起きた際の窓枠による事故防止と避難経路確保に役立てられています。



実大実験計測の様子



実大実験計測のデータ処理の様子

環境科学系「プロジェクトⅢ」で都市下水処理施設を見学しました

理工学部 2 年生の必修科目「プロジェクトⅢ」は学系ごとに、より専門的で実践的な課題に取り組む授業です。環境科学系では 8 月 5 日(金)、東京都下水道局 流域下水道本部 浅川水再生センターを見学し、都市下水処理施設の役割や管理業務について学習しました。今回学んだ知識をレポートにまとめ、身近な環境保全への取り組みについて理解を深めます。



都市下水処理施設の職員の方の説明を聞く学生



都市下水処理施設見学の様子

環境科学系（岩見研究室）で相模湖のプランクトン採取を行いました

8 月 11 日(木)、環境科学系・岩見研究室では卒業研究の一環として相模湖（神奈川県立相模湖公園内）でプランクトン採取を行いました。採取した水試料やプランクトンは微生物による水質浄化研究や調査などに活用します。



採取の様子

